

中国語における敬語体系と使用習慣に関する研究

—日本語の敬語体系の枠組みを参考にして—

広島大学文学研究科 人間文化学

博士課程後期 吳天一

要 約

本論はアンケート調査のデータに基づいて、現代中国語の敬語体系を分析し、現代中国語における敬語表現の分類を試みたものである。アンケートにおいては、1280人の調査対象に度合式問題を回答させ、敬語に関する使用習慣を確かめたとともに、現代中国語の敬語使用実態を明らかにした。特に注目されたいのは、現代中国語のなかに、尊敬語、謙譲語及び丁寧語の区別が存在すると証明できたが、実際の使用状況を考察すると、コミュニケーションコストを削減するために、尊敬・謙譲語は丁寧語と混同され、敬語体系全体は丁寧語化する傾向が見られることである。さらに、論者は日本語敬語体系を参照に、現代中国語の敬語に対する分類作業を行うまで研究を進めた。また、本研究は、中国語の敬語体系との比較により、中国語母語者を対象とする日本語敬語の教育法を発展させる可能性を提示しており、日本語教育への貢献も期待できると考えられる。